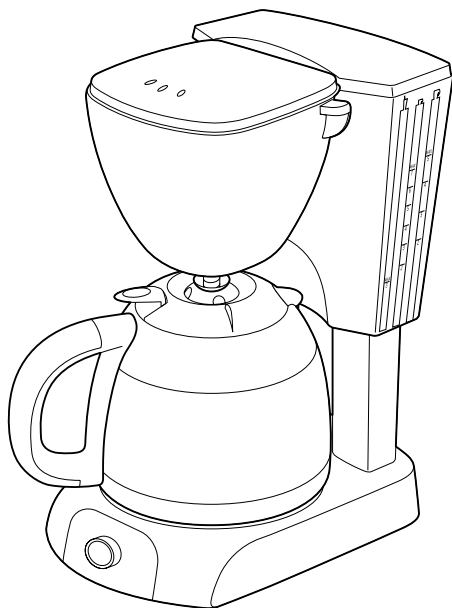


コーヒーメーカー DCM-08L

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意P 1~2
本体の設置P2
各部の名称とはたらきP3
正しい使いかたP3~5
お手入れと保管P6
修理・サービスを依頼する前にP6
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙

仕 様

型 名	DCM-08L
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	750W
種 類	ドリップ式（水容器一体型）
保温装置の有無	無
最大使用水量	約1000ml
電源コード長さ	約1.3m
外形寸法	約 幅18.0×奥行27.5×高さ32.5cm
質 量	約1.6kg
付属品	計量スプーン（1個）、ペーパーフィルター（2枚）

※市販のペーパーフィルターは、1×4または103をお求めください。



●仕様等は改善・改良の為、予告なく変更する事があります。

●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。



(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- 利用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。(物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)


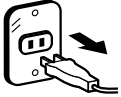


図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は、「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 分解禁止	 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドゥシヤサービスマスター(裏表紙をご参照ください)にご相談ください。	 ホコリを取る	 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショートや火災の原因になります。
 使用禁止	 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
 禁止	 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	 使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
 ぬれ手禁止	 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	 プラグを抜く	 異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災や感電の原因になります。
 禁止	 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けがややけど、感電の原因になります。	 指示	 定格15A以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 禁止	 電源は交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 禁止	 本体にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常動作してけがの原因になります。	 禁止	 カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。

警告

 <p>指示</p> 	<p>発煙・発火したときは、電源を切り、電源プラグを抜く。 火災の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>ステンレスポットなしで使用しない。 コーヒーが飛び散って、やけどの原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ステンレスポットを電磁調理器や火で直接加熱しない。 やけどや変形・変色の原因になります。</p>	

注意

 <p>プラグを抜く</p> 	<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電や火災の原因になることがあります。</p>	 <p>指示</p>  <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>ドリップ中や使用直後、高温部（蒸気口・バスケット）に顔や手を近づけない。特に乳幼児の手が触れないように、十分注意する。 やけどの原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 火災の原因になることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形や変色したり、火災の原因になることがあります。</p>	 <p>接触禁止</p> <p>ドリップ中や使用直後はステンレスポット台に触れない。 やけどの原因になることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>お手入れは本体が冷めてから行う。 やけどの原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>決められた容量以上のコーヒー粉・水を入れない。 コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因になることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>バスケットのふたや蒸気口にふきんなどをかけてふさがない。 変形や変色の原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>水タンクに水以外のものを入れない。 牛乳や酒、コーヒー、お湯など水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ステンレスポットを載せたまま、本体を動かさない。 やけどやけがの原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>水タンクに水を入れずに電源プラグをコンセントに差し込まない。 やけどや火災の原因になることがあります。</p>

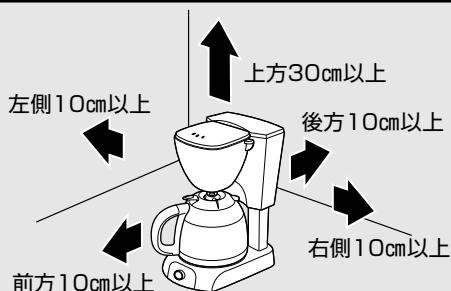
本体の設置

本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本体は図のように設置してください

次のような場所では使用しないでください。

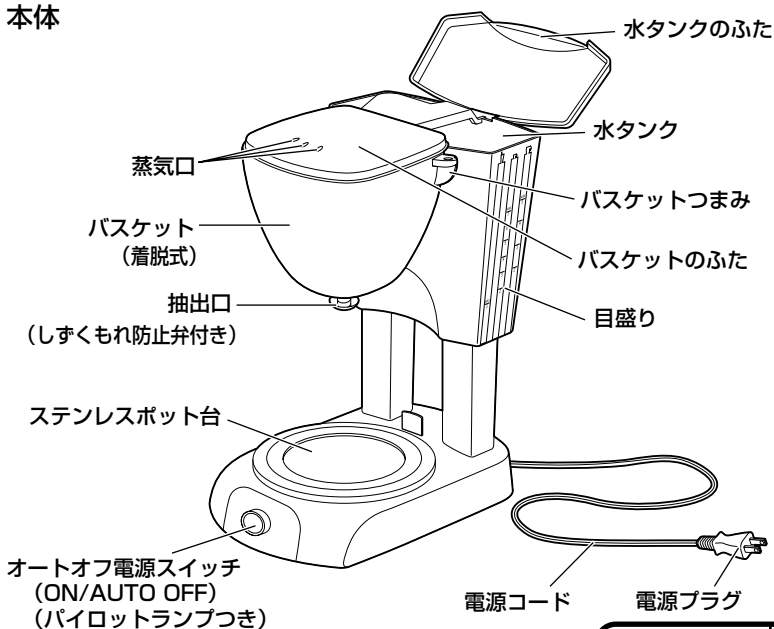
- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く。
- 熱に弱い敷物の上。



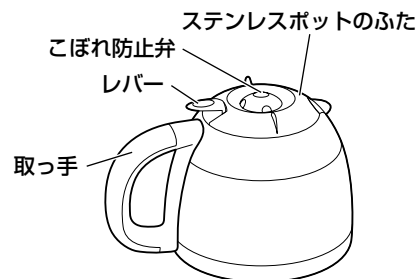
- 本体は、安定した水平な台などの上に設置してください。
- 本体が熱くなったり、蒸気口から湯気が出ますので、周囲から少し離してお使いください。

各部の名称とはたらき

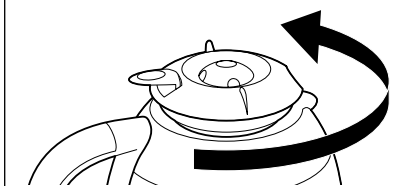
本体



ステンレスポット



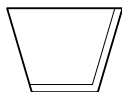
ステンレスポットのふたの開けかた
ふたを「OPEN」の方向に止まるまで回して持ち上げると、ふたが外れます。



付属品



計量スプーン
(1さじ 約6g)



ペーパーフィルター
(2枚)

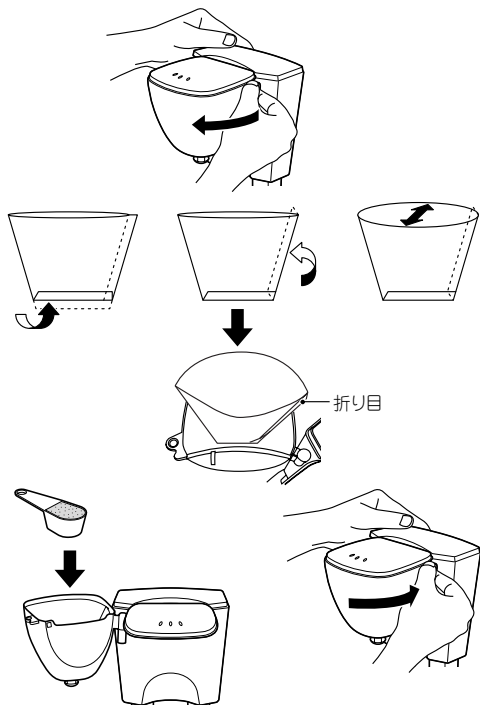
注意



ステンレスポットのふたにはゴムパッキンが付いています。外した場合は、必ず取り付けてご使用ください。

正しい使いかた

ホットコーヒーの作りかた



● 初めて使用するときや、長い間使用しなかったときは、コーヒー粉を入れないで2~3回水だけでドリップをしてから、使用してください。

1. バスケットつまみを持って、バスケットを止まるまで開ける

● 必ず水タンクを押さえながら、バスケットを開けてください。

2. ペーパーフィルターのとじ部を折り、バスケットに、ペーパーフィルターを広げながら入れる

※ 市販のペーパーフィルターは、1×4または103をお求めください。

注意

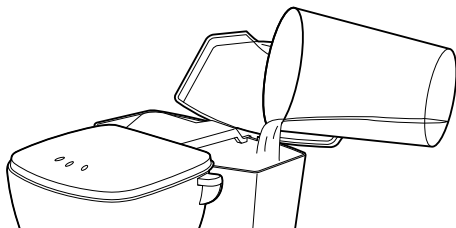
● ペーパーフィルターの折り目は図の向きに入れてください。

3. 必要な量のコーヒー粉を入れて、バスケットを閉める

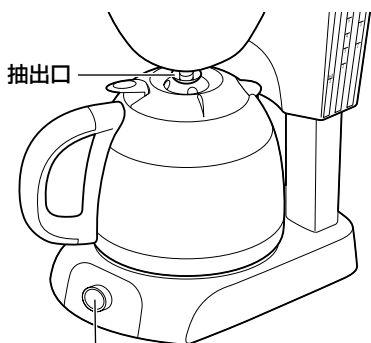
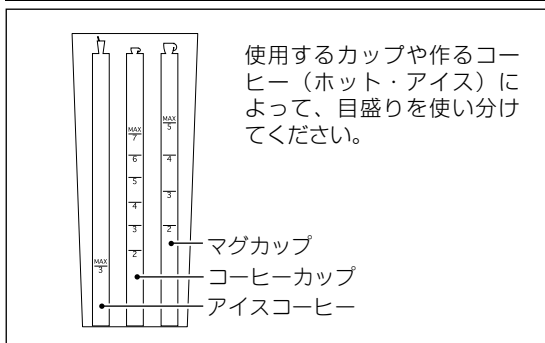
● バスケットが完全に閉まるように、奥までしっかりと閉めてください。

● コーヒー粉の量は好みにより加減してください。

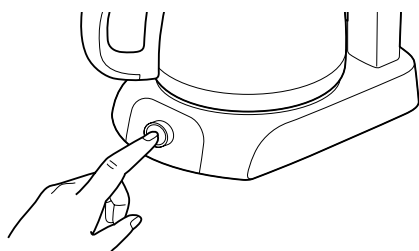
カップ数	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンですり切りに計った場合)		
	ホットコーヒー マグカップ 約180ml	ホットコーヒー コーヒーカップ 約120ml	アイスコーヒー (アイスコーヒー用粉)
2カップ	3杯	2杯	---
3カップ	5杯	3杯	6杯
4カップ	6.5杯	4.5杯	---
5カップ	7.5杯	6杯	---
6カップ	---	6.5杯	---
7カップ	---	7.5杯	---



水タンクに水を入れる目安



オートオフ電源スイッチ
(ON/AUTO OFF)
(パイロットランプつき)



⚠ 注意

- コーヒー粉は、細びき粉を使用しない。
- コーヒー粉は、8杯以上入れない。コーヒーがこぼれて、やけどの原因になることがあります。

4. コーヒーの量 (目盛り) に合わせて、水タンクに水を入れる

⚠ 注意

- 水道の蛇口から直接水を入れない。水がこぼれて、感電やショートの原因になることがあります。
- 水は、目盛り「MAX」以上入れない。
- 本体に水やステンレスポットにコーヒーが入った状態で、本体を持ち運ばない。
- 水タンクに水以外のものを入れない。故障の原因となります。

5. ステンレスポットをステンレスポット台にのせる

- ステンレスポットと本体の抽出口が、正しくセットされていることを確認してください。

⚠ 注意

- ステンレスポットをのせたときに、抽出口がステンレスポットのこぼれ防止弁の中央に位置しているかを確認する。コーヒーがこぼれて、やけどの原因になります。

6. 電源プラグをコンセントに差し込んで、オートオフ電源スイッチを押す

電源を入れると、パイロットランプが点灯します。

- しばらくするとコーヒーの抽出 (ドリップ) が始まります。

⚠ 注意

- オートオフ電源スイッチを押す前に、パイロットランプが点灯した場合は、そのままドリップが始まるので、中止させる場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ドリップ中は、蒸気口やバスケットの上部から蒸気が出るので、顔や手を近づけない。やけどの原因になります。

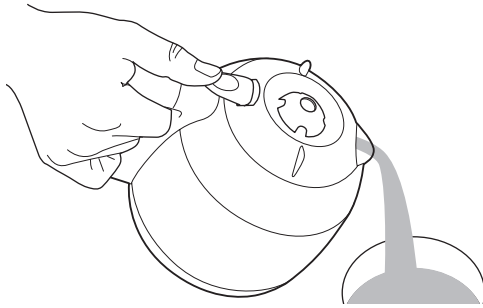
正しい使いかた（つづき）

カップ数	できあがるまでの時間（約）		
	ホットコーヒー マグカップ 約180ml	ホットコーヒー コーヒーカップ 約120ml	アイスコーヒー (アイスコーヒー用粉)
2カップ	4分	3分	--
3カップ	5分	4分	3分
4カップ	7分	5分	--
5カップ	8分	6分	--
6カップ	--	7分	--
7カップ	--	8分	--



警告

外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。消し忘れや火災の原因になります。



7. ドリップが終了したら、パイロットランプが消え、自動で電源が切れます。電源プラグをコンセントから抜いてください

- 熱めのコーヒーを飲むときは、あらかじめカップを温めておいてください。
- パイロットランプの消灯を確認して、お湯・蒸気が完全に止まってから、ステンレスポットを取り出してください。
- カップに注ぐときは、ステンレスポットのふたが「CLOSE」の状態になっていることを確認して、ステンレスポットのレバーを押し下げながら注ぎます。
- ドリップ後にペーパーフィルターを捨てるときは、コーヒー粉が完全に冷めてから、バスケットを開いてペーパーフィルターを取りはずしてください。



注意

- オートオフ機能なので、ドリップが終了したら自動的に電源が切れ、パイロットランプが消灯します。
- ステンレスポット台が熱くなっているので、しばらく触らないでください。
- 保温性を高めるため、残り少ないコーヒーが出にくいことがあります。ステンレスポットを大きく傾けて注いでください。

アイスコーヒーの作りかた

1. コーヒー粉と水をアイスコーヒーのカップ数に合わせて用意し、ホットコーヒーと同じ手順でコーヒーを作る

- コーヒー粉の量は、4ページ表「コーヒー粉の量」を参考にしてください。

2. ステンレスポットのふたを開けて、氷を入れてふたをしっかりと閉める

- 氷の量は、コーヒーとほぼ同じ量が目安です。
- コーヒーを早く冷やしたいときは、中身が飛び出さないように気を付けて、軽く振ってください。
 - 砂糖を加える場合は、コーヒーが熱いうちに砂糖を加えて、溶かしてから氷を入れてください。
- ※ お好みでシロップや生クリームを加えてください。

続けてコーヒーを作る場合

本体が冷めるまで約10分以上経過後、手順1からくり返してください。経過時間が短すぎると、オートオフ電源スイッチを押してもパイロットランプがつかません。

途中で中止する場合

一度オートオフ電源スイッチを押すと、ドリップが終了するまで電源が切れません。途中で中止する場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れと保管



警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。感電やけが、やけどの原因になります。

本体

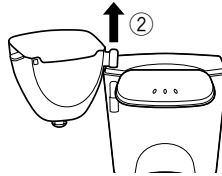
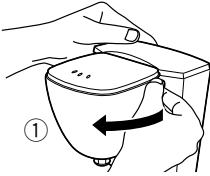
- ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

バスケット・ステンレスポット

- 水またはぬるま湯で汚れを落として、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

■バスケットの外しかた

- ①、②の手順でバスケットを開けて、バスケットを持ち上げると外れます。



■お湯の出が悪くなったとき

- 1.レモン汁1個分(種と絞りカスを除く)と水2カップを、ステンレスポットに入れよくかき混ぜます。
- 2.かき混ぜたレモン水を水タンクに入れ、コーヒーを作るときと同じ操作を行います。
- 3.1と2を2回くり返したあと、ステンレスポットの水を捨てます。
- 4.水だけで2~3回ドリップし、レモンのおいをとります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

保管のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告 修理技術者以外の方は分解したり、修理したりしない。

「故障かな?」と思ったときは次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
ドリップできない コーヒーができない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	プラグを正しく差し込んでください。
	水タンクに水が入っていない。 コーヒー粉が入っていない。	水タンクに水を入れてください。 コーヒー粉を入れてください。
コーヒーがあふれる	コーヒー粉か水を入れすぎている。	適切な量を入れてください。
	こぼれ防止弁としずくもれ防止弁がずれている。	ステンレスポットとバスケットを正しく取り付けてください。
コーヒーがぬるい	内容量が少なくなっていますか。	寒冷地など使用環境の厳しい状況では十分な保温効果が得られません。
	ステンレスポットのふたがしっかり閉まっていない。	「CLOSE」の方向にしっかり閉めてください。
しずくもれ防止弁が効かない	コーヒー粉等が弁に付着している。	しずくもれ防止弁を上下させながら、水またはぬるま湯で汚れを落としてください。

長年ご使用のコーヒーメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤサービスセンターに点検をご相談ください。